平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	日本語1 (Japanese 1)			授業コード	A023011
担当教員名	清田　芳弘			科目ナンバリングコード	A00705
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	・日本語能力試験N1、N2合格者を含む、すべての留学生は「日本語2」と合わせて受講してください。最初の時間にプレースメントテストを行い、能力別クラスを編成します。ただし、N1、N2合格者は原則上級クラスに入ることになります。				
受講心得	・授業は前期は能力別3クラス、後期は1クラス編成で行いますが、評価については共通試験を実施し、共通の基準で評価します。共通試験では筆記・聴解試験に加え、面接試験も実施します。 ・学習レベルは日本留学試験(※N2レベル基準)の基礎レベルで進めますが、基礎的日本語力にも留意し、適宜基礎的トレーニングも実施します。 ・日本語基礎力に課題のある学生については「サポートタイム」(※別科教員対応。4限、5限に設定)で取り出して学習を手助けします。その他日本語の疑問や質問などがある場合にも「サポートタイム」を利用してください。 ・日本語能力試験N2・N１受験のための特別講座「日本語能力試験対策講座」を課外補講枠で実施しますので参加してください。※7月実施の日本語能力試験を受験する場合は4月中に出願手続きを済ませておいてください。				
教科書	読むトレ:『改訂版　読むトレーニング　基礎編』(スリーエーネットワーク)、プリント教材				
参考文献及び指定図書	○聴くトレ:『改訂版　聴くトレーニング　基礎編』(スリーエーネットワーク) ○特トレ:『日本語能力試験対策　日本語総まとめN3　語彙』(アスク出版)／『日本語能力試験対策　日本語総まとめN3　漢字』(アスク出版)／『日本語集中トレーニング』(アルク)				
関連科目	日本語2、日本語3、日本語4				

授業の目的	①学部講義を理解するための日本語基礎力を伸ばすため、「読むトレーニング」と「聞くトレーニング」の両面から総合的なスキルアップを図る。 ②身近なテーマや話題についての口頭表現の基礎的運用力を身につける。 ③能力的目標レベルとして日本語能力試験N3～N2レベルの基礎的な理解力、運用力を身につける。 ④漢字力・語彙力、生活日本語・ビジネス日本語の基礎的運用力を伸ばす。
授業の概要	・毎時間「聞くトレーニング」として講義理解に近づけるための聴解課題を5題程度、「読むトレーニング」として日本語能力試験N3～N2レベルの読解課題を5題程度扱い、語彙・文型・内容理解の基礎力増強を図る。また口頭表現の基礎的運用力をつけるため、身近なテーマや話題についての簡単な口頭発表や質疑応答の練習もする。 ・毎時間30分程度の「特別トレーニング」として、漢字・語彙練習や実践的な生活会話・ビジネス日本語の基礎的運用練習、ワンテーマスピーチ、簡単なプレゼン等も必要に応じて実施します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第１週：	

スタートアップセミナー	
第 2 週： スタートアップセミナー	
第 3 週： プレースメントテスト	配布資料 学習課題の時間　30分
第 4 週： 聞くトレ　聴解課題　大学での学習語彙 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第 5 週： 聞くトレ　聴解課題　学生生活語彙 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第 6 週： 聞くトレ　聴解課題　学生生活語彙 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第 7 週： 聞くトレ　聴解課題　日常生活語彙 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第 8 週： 聞くトレ　聴解課題　日常生活語彙 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第 9 週： 聞くトレ　聴解課題　情報取り 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第10週： 聞くトレ　聴解課題　情報取り 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第11週： 聞くトレ　聴解課題　情報のポイント 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第12週： 聞くトレ　聴解課題　情報のポイント 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第13週：	

聞くトレ　聴解課題　情報の取捨選択 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ　語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第14週： 聞くトレ　聴解課題　情報の取捨選択 読むトレ　読解課題　語彙・文型・内容理解・質疑応答　口頭発表・質疑応答 ※特トレ 語彙・漢字・実践日本語課題	配布資料 学習課題の時間　30分
第15週： 口頭発表・質疑応答による面接試験	配布資料 学習課題の時間　30分
第16週： 期末試験(全クラス共通問題)	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考	能力別3クラスで授業は行いますが、期末試験は共通問題で実施します。	

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①大学生活における日常的、一般社会的な話題やテーマについての文章を読んで理解できる。
【知識・理解】	②文章中のキーワード、キーセンテンスを見つけ、内容の概要をつかむことができる。 ③日本語能力試験N3～N2レベルの基礎的な理解力、運用力を身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	④大学生活における日常的な場面で、やや自然に近いスピードでまとまりのある会話を聞いて、話の内容や話の関係性について理解でき、ほぼ再現することができる。
【思考・判断・創造】	⑤日常的な話題でやや難易度の高いものでも、言い換えなどを通じて要旨を理解できる。

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等(テスト)**	**レポート・作品等(提出物)**	**発表・その他(無形成果)**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**80点**	**10点**	**10点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等 （提出物）	原則として、毎回、授業で扱う「読むトレ」「聞くトレ」練習課題に関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した宿題を出しますので、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 （無形成果）	2～3人のグループごとに、授業で扱う「読むトレ」「聞くトレ」練習課題の中の語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した発表活動を行います。達成水準の目安は以下の通りです。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。